

## L20c                    73P/Schwassmann-Wachmann3 関連流星群の出現可能性

谷川 智康

73P/Schwassmann-Wachmann3(SW3) は1995年9月ごろ、その中心核が分裂した。その際に多量のダストが放出されたと考えられるが、それらのダストが地球と衝突し流星群として観測されるか否かを計算機によるシミュレーションで考察した。

SW3は遠日点で木星の摂動を大きく受ける木星族彗星であり、そこから放出されたダストも木星の摂動により軌道を大きく変えている。95年9月の分裂の際にはその中心核が4つに分裂するのが確認された。本研究では、そのうち最大であったC核から、適当な初速度、放出方向を与えテスト粒子を放出しその運動をシミュレーションした。その結果、テスト粒子は木星の摂動を受けながら軌道を変化させ、2033年5月ごろ地球に0.02AU以下の距離に粒子が集中して接近することがわかった。発表では、その結果を元に流星群の出現の様子を明らかにする。